

第13回

子どもの虐待死を悼み 命を讃える市民集会

一人ひとりの気づきが子どもと親の未来を守る

日時

2015年

11月15日(日)

12時半開場 13時半開演

会場

ニッショーホール

東京都港区虎ノ門 2-9-16

参加費

無料 事前申込不要

あなたに届け
みんなの心

主催 認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク

後援

内閣府、文部科学省、厚生労働省、一般社団法人日本子ども虐待防止学会、公益財団法人 SBI 子ども希望財団、読売新聞社、東京都、港区、中央区、全国社会福祉協議会、全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会、全国保育協議会、全国保育士会、全国自立支援ホーム協議会、公益財団法人全国里親会、NPO 法人日本子どもの虐待防止民間ネットワーク、NPO 法人里親子支援のアン基金プロジェクト、NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会、社会的養護の当事者活動全国ネットワークこどもっと、NPO 法人社会的養護の当事者参加推進団体 日向ぼっこ

イラスト：オレンジリボン公式ポスターコンテスト2015 佳作(新保 玲奈さん)



オレンジリボン運動とは、オレンジリボンをシンボルマークとして子ども虐待防止を広める市民運動です。オレンジリボンには、子ども虐待の現状を伝え、防止し、虐待を受けた子ども達が幸福になれるようにという気持ちが込められています。

第13回

子どもの虐待死を悼み 命を讃える市民集会

一人ひとりの気付きが子どもと親の未来を守る

平成25年度子ども虐待相談件数は73,802件となり、重篤な事例も引き続き発生しています。この集会では、虐待によって亡くなった子どもたちに鎮魂の祈りを捧げるとともに、2つの虐待死事件の振り返りを通じて、私たち一人ひとりがすべきこと、できることについて考えます。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

第1部 子どもの虐待死を悼み、命を讃える

一年間に虐待により亡くなった子ども達の名前や年齢、死亡原因などを読み上げ、参加者全員による黙祷を捧げます。

演奏

小林 洋平氏 (作編曲家・サクソ奏者)

パークリー音楽大学映画音楽科首席卒業。作曲家とサクソ奏者の両面で活躍。映画やNHKドラマ、報道番組等の音楽を多数担当。

林 良氏 (キーボーディスト)

昭和音楽大学作曲学科電子音楽コース卒業。
2001年「organs café」で ZAIN RECORDS よりメジャーデビュー。
昭和音楽大学ポピュラー音楽コース非常勤講師。

第2部 講演

「SOSはなぜ、届かなかったのか ～二つのネグレクト事件取材して～」

2000年に愛知県武豊町で起きた3歳児の餓死事件。2010年に大阪市西区で起きた3歳と1歳半の置き去り死事件。二つの事件取材した。母親たちはよく似た生い立ちだが、事件の現れ方は違った。そこに日本社会の急激な変化が見て取れる。幼い子どもを抱えて移動する親の増加。子育てに苦しみながら「助けて」と言わない親。行政の支援策は多様になっても、子どもたちの虐待死が止まらないのはなぜか。私たちに何ができるか。

杉山 春氏

東京生まれ。雑誌記者・編集者を経て現在、フリーのルポライター。『ネグレクト』で第11回小学館ノンフィクション大賞を受賞。子育て、母子、貧困問題、外国人住民などに興味を持つ。ここ数年、子ども若者の支援にも関わってきた。



・『満州女塾』(1996年、新潮社)・『ネグレクト』(2004年、小学館)
・『移民還流』(2008年、新潮社)・『ルポ虐待』(2013年、ちくま新書)

第3部 子ども虐待防止を訴える「鎮魂の行進」

オレンジ色の服装や物を持つての参加を歓迎します。

オレンジリボンを身に付け、街頭を行進しながら、子ども虐待のない社会作りをアピールします。



日時 2015年11月15日 ㊤

12時半開場 13時半開演

会場 ニッショーホール
東京都港区虎ノ門 2-9-16

参加費 無料 事前申込不要 (当日直接会場へお越し下さい。)



アクセス

- 東京メトロ銀座線
虎ノ門下車
2番・3番出口徒歩5分
- 東京メトロ日比谷線
神谷町下車
4番出口徒歩10分

お問い合わせ



認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク

〒156-0043 東京都世田谷区松原1-45-10 KTスクエア 4B

TEL : 03-6380-6380

http://www.orangeribbon.jp

E-MAIL : info@orangeribbon.jp